

主な取り組みと関連予算

● 東京都大田区との交流の推進



美郷米ブランドの有利販売、農産物や特産品の通年販売、都市と農村の交流、観光の活性化に向けた方向性を確立するため、新たに「うりこめ美郷応援事業」を展開します。

うりこめ美郷応援事業 750万円

大田区の米穀販売店への積極的な売り込みを推進するため、販売推進のためのブランド大使の委託、美郷米の試食会イベントの開催、美郷こだわり米オーナー制度の啓発などに取り組みます。

美郷の味販売交流促進事業 119万円

大田区における六郷カマクラ展などを通じた物産販売のほか、新たに美郷米を含めた農産品などの物産をアピールし、販売ルートを構築します。

地域間交流事業 206万2千円

東京都大田区をはじめとして、茨城県つくば市・かすみがうら市、栃木県那珂川町とのさまざまな交流に取り組みます。

● 地販地消の推進



農業・工業・商業の関係団体などと連携を図りながら、地域内交流と地域経済の活性化に向けて『地販地消』を積極的に推進します。

地販地消推進事業 519万1千円

町内の特産的生産物や販売所などを啓蒙する「美郷まるごとショッピング冊子」の作成、地域特性をアピールできる創作料理に関係団体の連携のもと取り組むなど、地販地消を推進します。

● 水環境の保全



「美郷町水環境保全条例」に基づいて、町民共通の資源である水環境を保全し、町内外で美郷町イコール「清浄な水」という印象が形成されるよう、さまざまな取り組みを行ないます。

水環境保全事業 1,242万7千円

河川や湧水の水質検査、水源域での不法投棄防止の監視活動などを継続して実施するほか、水環境に対する関心を高めることを目的として、新たに水環境シンポジウムを開催します。

● 災害に強い町づくり



災害に強いまちづくりを目指した施設整備の推進のため、国の補助金であるまちづくり交付金を活用した事業に着手します。

防災まちづくり事業 7,321万1千円

防災行政無線整備に向けた設計や関係施設の一部整備、防災資機材などを積載するための車両の導入のほか、通学路を主体に防犯灯の計画的な設置を継続します。

ハザードマップ作成事業 210万円

河川洪水時の浸水想定区域内の円滑な避難、水害の軽減を目的に「ハザードマップ」を作成します。

消防設備整備事業 946万2千円

消火栓の未整備地区への設置を進め、迅速な初期消火活動を支えます。

その他予算

■ 快適なまちをめざして

道路新設改良事業	5億6,673万1千円
除排雪機械整備事業	4,559万7千円
六郷東部簡易水道事業	1億410万円
畑屋地区簡易水道事業	9,350万円
定住情報提供事業	44万9千円

■ 自然にやさしいまちをめざして

ごみ収集処理事業	2億8,597万8千円
ごみ減量リサイクル対策事業	1,320万3千円
地籍調査事業	1,503万1千円

■ 健やかなまちをめざして

成人総合検診・乳幼児健診事業	4,601万8千円
各種予防接種事業	2,237万4千円
健康づくり・生活習慣改善事業	374万8千円
こころの健康づくり事業	33万円
食育推進事業	30万9千円
ブックスタート事業	47万3千円
温泉無料券交付事業	508万8千円
はり・きゅう・マッサージ助成事業	657万5千円
シルバーバンク事業	610万円

■ 心豊かなまちをめざして

奨学資金事業	3,357万9千円
確かな学力定着事業	2,875万7千円
中学校施設環境整備事業	7,881万1千円
芸術文化活動事業	237万円
文化財保護事業	4,352万3千円
国体開催記念事業	235万円

■ 人がふれあうまちをめざして

コミュニティスポーツ施設整備事業	1,143万円
街なみ環境整備事業	3,512万4千円
観光施設整備・イベント関連事業	814万7千円

■ 活力あるまちをめざして

美郷ブランド確立事業	300万円
ほ場整備事業支援事業	6,249万1千円
農地・水・環境保全向上活動支援事業	4,695万3千円
畜産環境整備事業	335万8千円
中小企業支援事業	7,271万5千円
企業誘致推進事業	321万4千円

■ 安全で安心できるまちをめざして

交通安全運動啓蒙事業	66万6千円
青少年健全育成対策事業	52万2千円

■ 町民主体のまちをめざして

行政経営プラン推進事業	158万円
広報発行・広聴活動事業	1,107万8千円
地域情報化基盤整備事業	15万8千円

● 予約制乗合タクシーの運行



地域内交通システムの構築を目的に昨年度策定した「美郷町地域公共交通計画」などに基づき、今年度から新たに地域内交流と公共交通空白地域の解消に向けて、予約制の乗合タクシーを運行します。

生活密着型交通体系対策事業 2,300万5千円

交通弱者の移動・移送手段の確保、町内交流の促進、地販地消の推進を図るため、町内3地域の区域運行として試験運行を開始し、平成21年度の本運行につなげます。

● 各種プロジェクトの具現化



住民と行政がともにまちづくりを担うための仕組みづくりに取り組むほか、公共施設のあり方や学校将来構想、温泉のあり方について、より踏み込んだ計画をまとめます。

協働参画のまちづくり事業 19万5千円

ボランティアのための拠点センターの設立を視野に入れた計画の具体化などを行います。

男女共同参画社会推進事業 22万9千円

住民懇話会や男の料理教室、出前講座など啓発活動を継続して行います。

学校教育将来構想事業 51万円

少子化が進む現状をふまえ、検討委員会や保護者懇談会を開催し、適正な学校規模などについて考えます。